

新学校名が決定しました

日野町立日野学園

令和5年度の義務教育学校の開校に向け、

○校舎建設検討委員会

○教育課程検討委員会

○開校準備委員会

を開催し、検討を重ねています。

校名については、開校準備委員会で検討されました。公募により、町内外から34件（41人）の応募があり、校名へ込められた「思い」も記されていました。多くの皆さんからいただいた候補名を、各学校のPTAや学

校運営協議会地域学校協働本部

委員会でも検討し、それらの会

で出された意見も踏まえて、開

校準備委員会で最終的に判断さ

れました。

議論内容

▼日野の情景が浮かぶような校名がよい。

▼「日野」という言葉を入れたい。

▼1年生から9年生まで皆が使うことも考えると、シンプルな

方が使いやすいのではないかと

書きやすさも考慮にいれたい。

▼「日野○○学園」という候補

名が多くあるが、○○にあたる

部分は、教室の名称など別の部

分で使うことができるのでは。

▼校名に込められた思いを、校

章に反映するなどの方法もある

のではないかと。

このような議論を経て、校名は「日野町立日野学園」がふさわしいと判断されました。

町としては、慎重に検討を重ね

ふるさとを愛し 心豊かに
たくましく羽ばたく 日野の子の育成



日野中学校

られた結果を踏まえ、校名を「日野町立日野学園」とすることとしました。今後、開校準備委員会では、校章、校歌、制服などについて検討を重ねていきます。

教育課程検討委員会では、教

育目標、めざす子ども像、校訓、

努力点などについて検討してい

ます。

教育目標については、子ども

たちの実態や地域の実状などを

考慮し、「ふるさとを愛し 心豊

かに たくましく羽ばたく 日

野の子の育成」に決定しました。

今後は、この目標をもとに、め

ざす子ども像や独自教科の設定、

学年の区切り、カリキュラムなど

について検討していきます。

よりよい学びの環境をつくるために

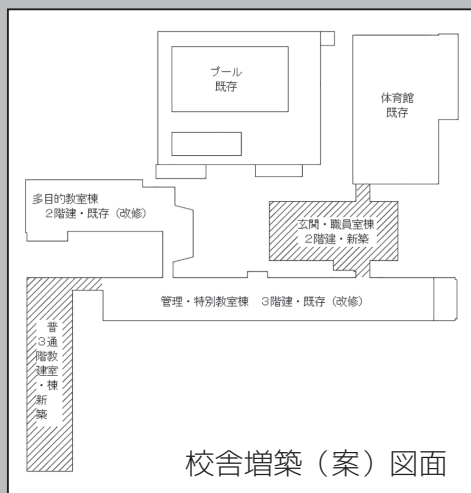
校舎建設検討委員会では、保育所や小・中学校の保護者の皆さんに、

○義務教育学校は、どのような校舎や施設だったらよいか

○新しい学校にふさわしい環境のキーワードは

という設問でアンケートを実施し、その回答を踏まえて検討を重ねています。

まずは、教室の数と配置について検討し、9学年分の学級と特別支援学級の教室数、あわせて、特別教室の数、そして地域の人との交流がしやすいスペースなどを考慮。その結果、現校舎の児童玄関部分を撤去し、新たに2階建ての玄関・職員室棟を増築、現校舎の南西側に3階建ての教室棟を増築、そして現校舎の内部を改修する方向で、今後の検討を進めることとしました。





日野高 NEWS

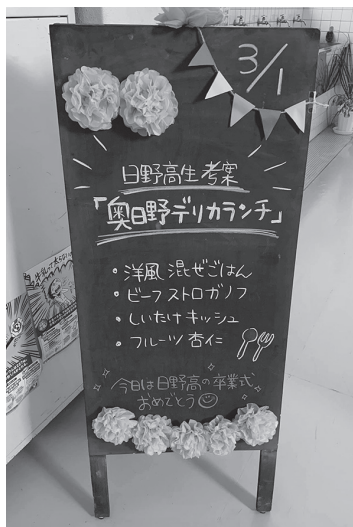
日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動をしているの？地域とのつながりを大切にしている日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！



3/1
(月)

農業高校対抗料理コンクールで受賞「奥日野デリカランチボックス」 日野町内の小・中学校給食メニューに変身！

おいしい給食メニューになりました♪



「第25回農業高校対抗料理コンクール」でアイデア賞を受賞した「奥日野デリカランチボックス」が、3月1日、町内の小・中学校の給食メニューとなりました。当日は、コンクールに出場した3年生2人が、小・中学校の児童と生徒に向けたビデオメッセージでメニューを紹介。給食の時間には日野中学校の生徒と一緒に、給食用にアレンジされたランチボックスを実食しました。



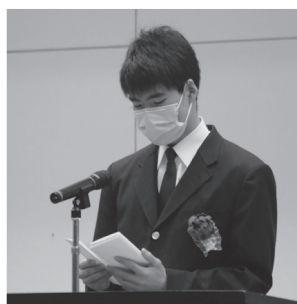
ビーフストロガノフはスープ仕立てに、野菜はより細かく食べやすく、塩分は控えめになるなど、健康志向にアレンジされたランチボックス。中学生には特にキッシュが好評で、「とてもおいしい」と喜びの声が上がりました。3年生の2人は、慣れない教室で少し緊張しながらも、卒業の祝いの言葉をのせたウェルカムボードに迎えられ、うれしいひとときを過ごしていました。



2/26
(金)

在校生が卒業生を送る プレ卒業式

令和2年度の卒業式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止として在校生の出席が見送られましたが、2月26日、在校生が卒業生を送るために、プレ卒業式を行いました。



▲答辞を読み上げる卒業生

在校生代表として、2年生の高橋奈々美さんは送辞で、「受け取ったバトンをつなぐ決意を」と、卒業生代表の稲田光希さんは答辞で、「かけがえない高校生活を大事に過ごしてほしい」と、思いを読み上げました。また、在校生が合唱「サザンカ」と、合奏「Paradise Has NO BORDER」を卒業生に贈り、日野高校らしいほのぼのと心が温かくなるプレ卒業式となりました。

3/1
(月)

新たな旅立ちの日 卒業証書授与式

寒さも和らぎ春の訪れを感じる中、3月1日、令和2年度の卒業証書授与式が行われました。

内仲弘校長は式辞で、「困難にあっても、あきらめず物事に向き合い続ける力が、これからも背中を押し続けるだろう」と、卒業生に向け激励の言葉を送りました。厳かで、温かな雰囲気の中で行われた卒業式。卒業おめでとうございます。



希望を胸に未来へと羽ばたく卒業生の皆さん